

◇ 設計の考え方

- まちと海側の一体感を創出するコンセプト実現のため、長く市民に親しまれている既存の公園景観を継承しながら見通しの悪くなった植栽の見直しを行う
- 既存景観の骨格となる高木は原則保全し、背丈が高くなり見通しの悪化や防犯上の懸念のある低木/地被植物は移植・撤去を行う
- 新たに整備するベンチ・縁台からの新たな景観を作り出すため、植栽の入れ替えも実施

◇ 使用素材

- 基本日陰となる環境を踏まえた良好に維持管理ができる種類を選定
- 1年草などを植えられる余地をあえて残し、フレキシブルに華やかさを演出できるよう配色を検討



アジサイ



クルメツツジ



ヒペリカム
'カリシナム'



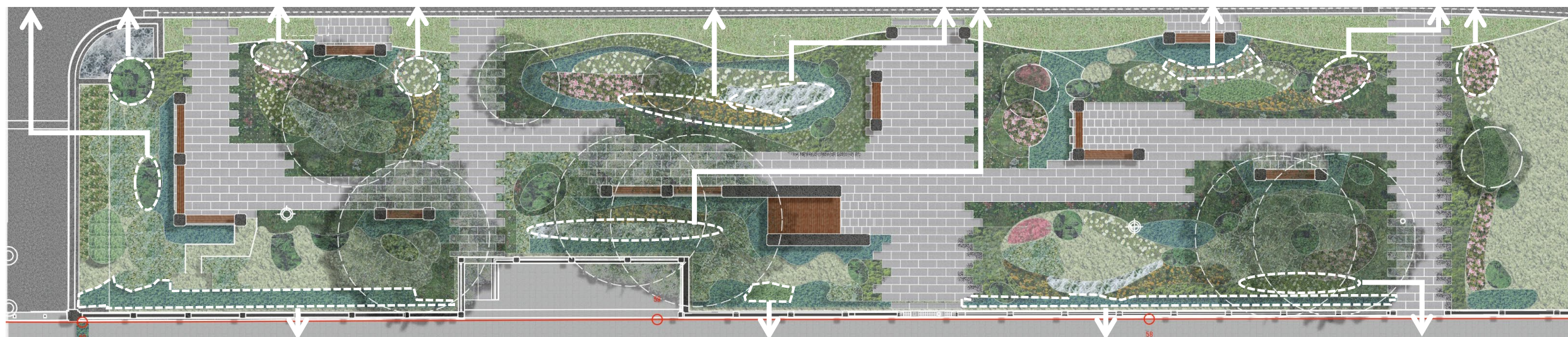
ユキヤナギ



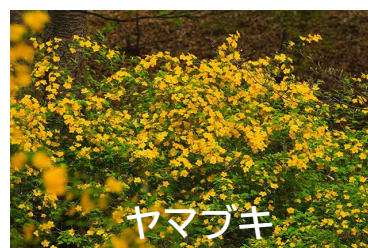
アベリア



リュウキウツツジ



ブルーカーペット



ヤマブキ



ブルーパシフィック



ヒメウツギ